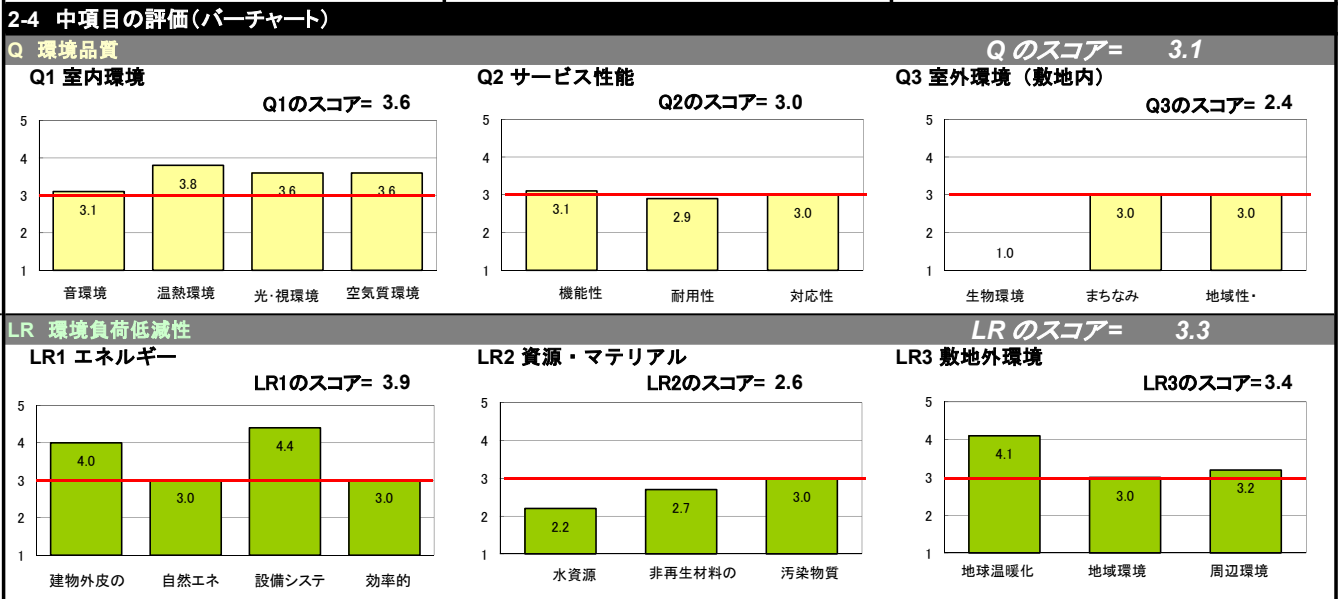
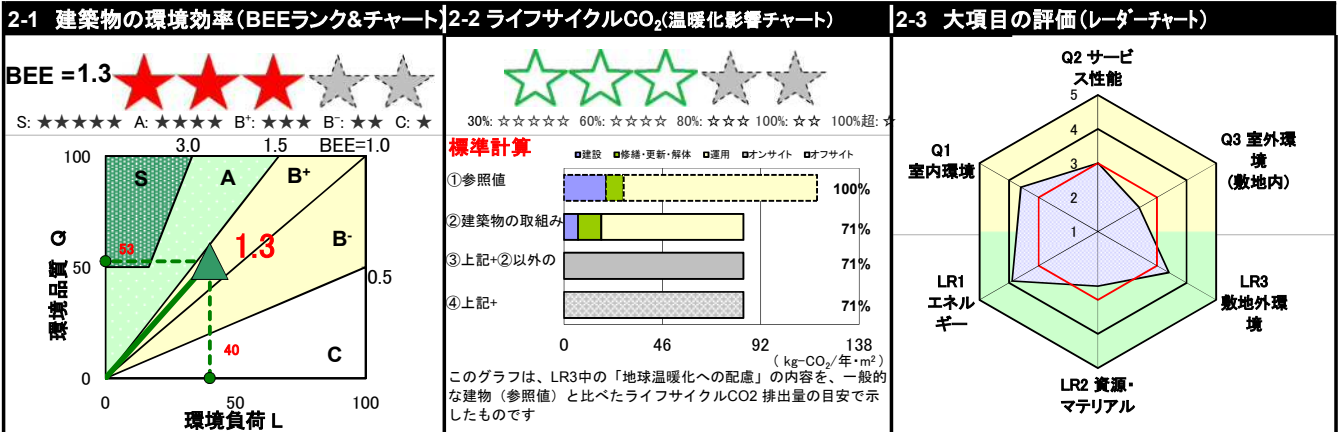


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 17021

建築物名称	プラウド川崎柳町
建築主	野村不動産株式会社 住宅事業本部 事業推進三部長 足立 総一郎
建築物の所在地	川崎市幸区柳町69番
設計者氏名、建築士事務所名	中條 広隆 株式会社長谷エコーポレーション 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	7,265.91m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上14階
工事完了年月	令和元年9月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	太陽光発電、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ブラウド川崎柳町	階数	地上14F
建設地	神奈川県川崎市幸区柳町69番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	326人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 竣工	評価の実施日	2017年7月19日
敷地面積	1,610 m ²	作成者	
建築面積	685 m ²	確認日	2017年8月7日
延床面積	7,266 m ²	確認者	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.7
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	川崎市緑化指針に適合		
2 まちなみ・景観への配慮	沿道に沿って緑を配置することにより、街並み・景観に配慮しました。	2.0/4.3	2.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上	水平投影面積率30%以上		
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率45%以上	0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.0
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.2 外皮性能	住宅性能表示制度 省エネ等級4を取得	5.5/7.0	3.9
3 3.1 3.1.3 昼光利用設備			
3.2 3.2.1 昼光制御	バルコニー及び、カーテンレールの設置		
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	川崎市緑化指針に適合	0.8/2.3	1.7
3 3.2 敷地内温熱環境の向上	水平投影面積率30%以上		
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能表示制度 省エネ等級4を取得	3.9/5.0	3.9
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化	潜熱回収型エコジョーズを採用		
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護		2.5/4.7	2.6
2 非再生性資源の使用量削減			
3 3.2 フロン・ハロンの回避			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率45%以上	0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.1
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	劣化対策等級3を取得	0.3/0.5	3.5
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護		2.1/4.0	2.6
2 非再生性資源の使用量削減	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。LGS工法を使用。		
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.3/0.4	3.3
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.9
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出	川崎市緑化指針に適合	0.8/2.3	1.7
3 3.2 敷地内温熱環境の向上	水平投影面積率30%以上		
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能表示制度 省エネ等級4を取得	3.9/5.0	3.9
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化	潜熱回収型エコジョーズを採用		
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率45%以上	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.9**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3を取得	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の継続利用		0.7/1.2	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能表示制度 省エネ等級4を取得	3.9/5.0	3.9
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化	潜熱回収型エコジョーズを採用		
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		実施設計段階				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目				評価点		重み係数	評価点	重み係数		
	G	W	R	H							
Q 建築物の環境品質										3.1	
Q1 室内環境							0.40		-	3.6	
1 音環境						3.0	0.15	3.1	1.00	3.1	
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音						3.0	0.50	3.3	0.50		
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能					RC界壁厚さ=200mm以上を確保		-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	3.0	0.20		
1.3 吸音							-		-		
2 温熱環境						3.0	0.35	4.0	1.00	3.8	
2.1 室温制御						3.0	0.50	4.0	1.00		
1 室温						3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能		W			断熱等級4を確保	3.0	0.38	4.0	1.00		
3 ゾーン別制御性							-		-		
2.2 湿度制御						3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境						3.3	0.25	3.7	1.00	3.6	
3.1 昼光利用						4.2	0.30	3.4	0.50		
1 昼光率					エントランス昼光率6.7%を確保 Dタイプ昼光率2.4%を確保	5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口							-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備		W				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.50		
1 昼光制御		W			庇とカーテンを組み合わせてグレア対策している	3.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度						3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-		
4 空気環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質					ほぼ全体的にF☆☆☆☆を使用している。	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能							-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理							-		-		
1 CO ₂ の監視							-		-		
2 喫煙の制御							-		-		

Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	3.0
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1	広さ・収納性				3.0	0.40	3.2	1.00	3.1
2	高度情報通信設備対応			インターネット用に100Mbitクラスのプロードバンドが利用可能	3.0	0.40	4.0	0.60	
3	バリアフリー計画				3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性									
1	広さ感・景観				3.0	0.30	2.0	0.40	
2	リフレッシュスペース				3.0	-	3.0	0.50	
3	内装計画				3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理									
1	維持管理に配慮した設計				3.0	0.30			
2	維持管理用機能の確保				3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震・制震・制振									
1	耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.50			
2	免震・制震・制振性能				3.0	0.80			
2.2 部品・部材の耐用年数									
1	躯体材料の耐用年数	R		住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を満たす	3.5	0.30			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R			5.0	0.20			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R		ビニルクロス貼耐用年数20年	2.0	0.20			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R			4.0	0.10			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R		給水:SUS(C)、汚水排水:VP(B)、雑排水:VP(B)、Eは不使用	3.0	0.10			
6	主要設備機器の更新必要間隔	R			5.0	0.20			
2.4 信頼性									
1	空調・換気設備				2.2	0.20			
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3	電気設備				1.0	0.20			
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5	通信・情報設備				3.0	0.20			
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
1	階高のゆとり			階高2.92mを確保	3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
2	空間の形状・自由さ					-	4.0	0.50	
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									
1	空調配管の更新性				3.0	-	2.0	0.40	
2	給排水管の更新性				3.0	-	3.0	0.50	
3	電気配線の更新性				3.0	1.00			
4	通信配線の更新性				3.0	0.20			
5	設備機器の更新性				3.0	0.10			
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)									
1 生物環境の保全と創出				G	W	H			
2 まちなみ・景観への配慮				G					
3 地域性・アメニティへの配慮									
3.1 地域性への配慮、快適性の向上									
3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W	H			

LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	3.3
LR1 エネルギー					0.40	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	W		H	住宅性能表示制度 省エネ等級4を取得	4.0	0.20	4.0
2 自然エネルギー利用	W		H		3.0	0.10	3.0
3 設備システムの高効率化	W		H	[BE][BEIm] = 0.88	4.4	0.50	4.4
4 効率的運用					3.0	0.20	3.0
集合住宅以外の評価							
4.1 モニタリング	W		H				
4.2 運用管理体制	W		H				
集合住宅の評価					3.0	1.00	
4.1 モニタリング	W		H		3.0	0.50	
4.2 運用管理体制	W		H		3.0	0.50	
LR2 資源・マテリアル					0.30	-	2.6
1 水資源保護	W	R			2.2	0.20	2.2
1.1 節水					1.0	0.40	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	
2 非再生性資源の使用量削減					2.7	0.60	2.7
2.1 材料使用量の削減	W	R			2.0	0.10	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W	R			3.0	0.20	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W	R		-	3.0	0.20	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	W	R		-	1.0	0.20	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W	R			3.0	0.10	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W	R		LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	4.0	0.20	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.20	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	
1	消火剤	W			-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	W			3.0	0.50	
3	冷媒	W			3.0	0.50	
LR3 数地外環境					0.30	-	3.4
1 地球温暖化への配慮	W			ライフサイクルCO2 71%	4.1	0.33	4.1
2 地域環境への配慮					3.0	0.33	3.0
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	
2.2 温熱環境悪化の改善		G	W		3.0	0.50	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	
1	雨水排水負荷低減		R		3.0	0.25	
2	汚水処理負荷抑制		R		3.0	0.25	
3	交通負荷抑制		R		2.0	0.25	
4	廃棄物処理負荷抑制		R	ディスプレイを設置	4.0	0.25	
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	
1	騒音				3.0	1.00	
2	振動				-	-	
3	悪臭				-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	
1	風害の抑制				3.0	0.70	
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制				3.0	0.30	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明を行っていない	5.0	0.70	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	

17021

プラウド川崎柳町

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に
基づいています。